

会 議 録

1 会議名

第10回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 報告事項(公開)

ア 市からの報告

イ 会長報告

ウ 部会報告

(2) 自主的に審議する事項(公開)

(3) その他(公開)

3 開催日時

平成26年12月19日(金) 午後2時から午後2時42分まで

4 開催場所

柿崎区コミュニティプラザ3階 305・306・307会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く。) 氏名(敬称略)

- ・ 委 員：金子正一、神岡八江子、木下高重、小池猛紀、小出優子、小関茂夫、小山貞榮、佐藤 健、白井一夫、白井秀雄、曾田良治、長井泰雄、長井洋一、宮澤安雄、吉村 登、渡邊征雄
- ・ 事務局：小菅宏造柿崎区総合事務所長、横田一次長、黒崎忠夫総務・地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、嶋田祐司建設グループ長、古田晴雄市民生活・福祉グループ長、福澤幸男総務・地域振興グループ班長、田鹿成美総務・地域振興グループ主事、寺田美子総務・地域振興グループ臨時職員
(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容等

【横田次長】

定刻となりましたので只今から第10回柿崎区地域協議会を開会いたします。本日は、小松委員が欠席です。薄波委員につきましては、若干遅れるということで、ご連絡が入っておりますので、間に合い次第ご出席いただければと思っております。現在の出席委員は16名です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条2項の規定により、会議が成立していることを報告します。同条第1項の規定により、議長は会長が務めることになっております。それでは佐藤会長、議長をお願いします。

【佐藤会長】

ご苦勞様でございます。爆弾低気圧による予想外の大雪で、各地で被害も被っているようでございます。柿崎区においても中山間地においては、日々の除雪で身体も疲れているかと思っておりますので、体調には十分気をつけていただきたいと思います。また、本日は悪天候の中でありますので、スムーズに会が進むよう、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

それでは、ただ今より、第10回柿崎区の地域協議会を開催させていただきたいと思います。まず、会議録の確認ですが、白井(一)委員をお願いします。それでは、次第3の報告事項に入ります。

まず、市からの報告事項です。「米山登山道の下牧口休憩施設」について大橋G長よりご説明をお願いします。

【大橋G長】

説明をさせていただきます。資料No.1をご覧ください。下牧多目的センターの跡地に8月から建設してまいりました米山登山道下牧口休憩施設につきましては、建物本体が、12月12日に完成いたしました。

～資料No.1により説明～

この施設につきましては、来年5月の米山山開きに合わせてオープンする予定となっております。オープン後は5月から11月まで開設し、降雪期は閉鎖する予定となっております。なお、施設の清掃、見回り等の管理につきましては、地元町内会にお願

いする予定としております。

この下牧登山口は、多くの登山客が訪れることから、単なる登山者の出発・休憩施設としてだけでなく、地元の宣伝や地元の方々と登山者との交流など、柿崎区の情報発信や地域振興の場ともなるように、地元町内会や山岳会などの方々と一緒になって取り組んでいくこととしております。以上です。

【佐藤会長】

ありがとうございました。只今、大橋G長より説明をいただきましたが、皆様から何か意見や質問等がありますか。無いようですので、市からの報告事項、米山登山道下牧口休憩施設につきましては、以上とさせていただきます。

続きまして、平成26年度地域活動支援事業における中間報告について、田鹿主事よりご説明をお願いします。

【田鹿主事】

それでは、私のほうから、平成26年度の地域活動支援事業の中間報告をいたします。

～資料により説明～

【佐藤会長】

ありがとうございました。只今、田鹿主事より説明がありましたが、皆様から何か意見や質問等がありますか。無いようですので、市からの報告事項、地域活動支援事業の中間報告につきましては以上とさせていただきます。

続きまして、報告事項の(2)会長報告に入ります。柿崎区地域協議会と柿崎まちづくり振興会等との意見交換会の実施について、先日正副会長及び事務局で開催方法について検討しましたので、事務局から報告をお願いします。

【田鹿主事】

それでは、正副会長と事務局とで検討した内容を報告させていただきます。

まず、先回の会長報告を受け、まず事務局まちづくり振興会さんの方へ、意見交換

会を開催したい旨の提案をしたところ、単なる会長同士の意見交換会ではなく、部会同士の意見交換会を開催してはどうかというお話をいただきました。

これを受け、正副会長とで検討した内容が資料No.2のとおりとなります。

～資料No.2により説明～

【佐藤会長】

ありがとうございました。只今、事務局からお話がありましたが、皆さん何かご質問等はありませんか。無いようですので、引き続き、私から先月開催しました地域協議会の研修視察について、報告させていただきます。

11月26日に開催した視察研修では、15名の委員の皆様から参加していただきました。特に、中鯖石コミュニティ振興会では、分野別で構成されている専門部会の活動について、それぞれの目標に沿った企画運営する中で、地域コミュニティ活動を展開しているというお話をお聞きしました。

当協議会においても、今年から部会を設置したわけですが、参考になるご意見を伺うことができ、大変良かったと思っています。以上が私の感想ですが、せっかく皆様からも参加していただいたので、感じたこと、また、今後の研修視察にどのようなものを望むのか、お聞きしたいと思います。何かありませんか。

【長井(洋)委員】

柏崎市と上越市では取組みの違いがあるのだと思いますが、柏崎市ではコミュニティセンターに職員を配置して、地域のコミュニティ活動に一生懸命取り組んでいました。ここでいう公民館だと思うのですが、力の入れ方が全然違うと感じました。

活動のための予算が柏崎市と上越市では異なると思いますが、柏崎市のコミュニティセンターを運営する予算はどの位なのか、事務局で調べることはできますか。

【小菅所長】

先ほど長井(洋)委員から、上越市でいう公民館活動であるという話がありましたが、柏崎市と上越市ではコミュニティ活動の捉え方も様々ですし、市民との協働の考え方として、NPOを通じての活動もあります。また、地区によっては、振興協議会のよ

うな形で、3つ位のブロックに分けて活動しているところもあります。上越市の公民館活動の捉え方は、このように様々な形態であることが現状です。また、公民館活動として地域づくりを進めてきた歴史もありますので、一つの尺度では測れない状態になっています。

しかし、これらのことと、柏崎市がどう進めているかということは別の話ですので、公民館活動の予算規模やどのような活動をしているか分かる資料があれば、皆様にお配りしたいと思いますので、少しお時間をいただきたいと思います。

【佐藤会長】

ありがとうございました。他に何かありませんか。それでは、他に意見が無いようですので、会長報告は以上とさせていただきます。

続きまして、報告事項(3)部会報告に入ります。平成27年度の地域活動支援事業についてです。まず、前回所長が報告したとおり、今年度との大きな事業の変更はありません。資料No. 3-1を用意しましたので、ご覧ください。

また、資料No. 3-2では、柿崎区における採択基準等の見直しについて、9月に開催された総務・地域振興部会での課題について一定の整理をしていただいたものになっています。今回、正副会長案として、調整方針を資料右側に記載してあります。これをもとに、総務・地域振興部会で再度検討、確認のうえ、1月を目標に報告をしていただき、全体で決定していきたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

【小出委員】

この会議の終了後、総務・地域振興部会で意見調整や協議をいたします。1月の地域協議会の時にご報告したいと思っております。できるだけ事前に資料を送付し、協議会のときに皆さんからご意見を伺いたいと思います。

【佐藤会長】

ありがとうございました。次回の協議会では採択基準等の報告をしていただきたいと思います。お忙しいと思いますが、ご協力をお願いしたいと思います。

皆様から何かご意見、質問等はありませんか。それでは、無いようですので、部会報告は以上とさせていただきます。

続きまして、次第4自主的に審議する事項に入りたいと思います。前回の地域協議会において、自主的審議事項として取り上げることとしました、柿崎区保育園にかかる課題と今後について、先日、正副会長及び事務局とで、今後の進め方について打ち合わせをさせていただきましたので、ご説明させていただきます。

まず、今回の審議については、子どもの保育に必要な専門的な知識が必要であることから、事務局を通じて、市の担当課であるこども課に相談させていただきました。その結果、柿崎区の保育園の老朽化や今後の在り方について、ぜひ一緒に検討していきたいとお話をいただきました。

審議の方法は、こども課から資料をいただきながら、専門委員会を設置し、時間をかけながらしっかり取り組んでいきたいと思います。専門委員の選任方法につきましては、後日報告させていただきます。

今後、正副会長、こども課及び事務局で検討内容や日程を調整していきたいと考えておりますので、逐次皆様に報告させていただきます。皆様から何か意見や質問等はありませんか。それでは、意見や質問等が無いようですので、次第4自主的に審議する事項の提案については以上といたします。

続きまして、次第5その他に入ります。事務局から何かありますか。

【嶋田G長】

建設グループからお願いします。今回の爆弾低気圧の関係で、海岸がだいぶ侵食されております。直海浜、三ツ屋浜、上下浜の傾斜護岸を含め、大分被害にあっております。今日も職員で見回りをしまして、立ち入り禁止の応急処置をしてきたのですが、県へ再度連絡をし、対応を検討しているところです。散歩等の際は近づかないようお願いしたいと思います。

【佐藤会長】

海岸の侵食問題でございますが、私も午前中に巡回をしました。上越地域振興局の担当が現場へ来ておりました。防護柵の基礎が折れておりましたが、先日、業者の入札が完了したということで早急に対応したいとのことでした。これから海も荒くなりますので、これ以上広がらないようになんとかしていきたいという話も伺いました。今の関連で皆さんにお話しさせていただきました。

【木下委員】

私の見解ですが、傾斜護岸がありますが、上部のコンクリートが大丈夫でも、その下の棚石や砂がそっくり無くなっています。ですからロープが張ってある範囲は入らないようにしてください。その上に登った場合、人の重さで落ちる可能性がありますので、十分気をつけていただきたいと思います。

【佐藤会長】

ありがとうございました。次に大橋G長、お願いします。

【大橋G長】

ハマナスふれあいセンターの廃止につきまして、今後の諮問・答申の予定についてお話をさせていただきます。

ハマナスふれあいセンターにつきましては、当初、温浴施設を廃止し、大広間を無料休憩施設として使用していく予定でしたが、これまでの間、利用実態、代替え機能、地元への影響などについて協議し、地域協議会と協議を重ねる中で施設全体の廃止についても検討をまいりました。現在の利用状況につきましては、ハマナスふれあいセンターの利用者数とマリンホテルハマナス及び近隣の日帰り温浴施設であります、ゆったりした郷、人魚館の利用者数を比べますと、多くの方が近隣の日帰り温浴施設を代替え施設として利用されているものと思われまます。

また、地域協議会からもご意見をいただきましたが、12月1日からは、天候を考慮して日帰り入浴をより快適に楽しんでいただけるよう、無料休憩施設をハマナスふれあいセンターからマリンホテルハマナス内に移設しております。今のところ、利用者からの苦情など不満の声は聞いておりません。地元への周知といたしましては、10月の柿崎区総合事務所だよりで、ハマナスふれあいセンターの現状と今後についてお知らせをいたしました。新聞にも掲載されておりますが、そちらにつきましても、問合せや苦情等はありません。これらの経過を踏まえまして、ハマナスふれあいセンター施設全体を3月末で廃止することとしまして、1月の地域協議会に諮問し、答申をいただきまして、市議会3月定例会に施設の廃止条例を提出することとしたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。私からは以上です。

【黒崎G長】

続きまして、私からお願いします。先回の地域協議会で行政改革推進課から説明をさせていただいております、公の施設の使用料の見直しにおける諮問・答申を来月の地域協議会で行います。よろしくお願いします。

【佐藤会長】

只今、事務局の方からもご説明がありましたが、何か皆さん方からご意見等ありますか。

【吉村委員】

先日行われた衆議院議員総選挙について、2点、検討をお願いしたいと思います。
私の選挙区の投票所が久比岐高等学校なのですが、玄関からブルーシートが敷いてあり、その先にスリッパが置いてありました。今回、天候が非常に悪かったので、ブルーシートが水浸しになり、靴下が濡れてしまいました。昨日、役員会をしたのですが、このような話が出て、今後は靴を脱がないで投票することはできないか、ぜひ検討をしていただきたいと思います。

2点目は、履物の履き間違いがあったことです。職員の方に事情を話し、分かったら連絡しますということだったようです。本人に選挙の状況を聞きますと、自分の前に2、3人しかいなかったということでしたので、受付で逆算すれば、その人たちの区と名前位はすぐ把握できるのではないかと思います。選挙ですから、職員がその場をすぐに離れられないことは分かりますが、今後も似たような場合が予想されますので、素早い対応をお願いしたいと思います。以上です。

【横田次長】

選管の事務局の立場でございます。ブルーシートの件、実は、個別にもお問い合わせをいただいております。季節柄、しかもその日は大変な悪天候でございましたので、大変申し訳なかったと思っております。表示するなりの形も考えたいと思いますし、
施設の状況を加味しまして、できるだけ皆様に気持ち良く投票してもらえる環境づく

りができるようにしたいと思っております。

また、靴の履き間違いについては、ご指摘のように、なかなか投票事務の忙しい時間等もありますので、素早い対応ができなかったのかと思いますが、靴が換わってしまい困っている方がいらっしゃるのもう少し、何かしらの対応ができたのではないかと思います。いずれにしてもそういったきめ細かい部分も含め、課題として認識しております。

【佐藤会長】

ありがとうございます。先ほど、大橋G長、黒崎G長から説明のありました、ハマナスふれあいセンター、並びに公の施設の使用料の見直しについては、1月の地域協議会で諮問されるということでございます。皆様から何か意見や質問はありませんか。

【曾田委員】

公の施設の使用料の見直しについて、1月の地域協議会で諮問されるということですが、前回の説明の際に申し上げた、減免の措置については、別途会合を開いて検討するという結論を含めて諮問されるのですか。

【小菅所長】

次回予定しているのは、料金そのものの考え方ですから、各施設の具体的料金、新聞等で報道されていますが、柿崎ドーム、かきざき福祉センターの会議室の料金の増加部分について、諮問し答申をいただくということです。

減免については、それぞれ専門の懇談会ということで、どの段階でどういう減免措置にするかは別途協議をしています。減免制度につきましては、条例事項ではありませんので、今回の諮問には無いと思います。ただ、報告は必要ですので、進行状況等について報告をさせていただきたいと思っております。

【小池委員】

ハマナスふれあいセンターを廃止することに異議はありません。マリンホテルハマナスに、休憩所を設けてということですが、温泉の利用客のだけではなく、ホテルの

宿泊客はどのような風を感じているかということについて情報があつたら、調べておいていただければ有難いのですが、よろしくお願ひします。

【小菅所長】

現在の休憩所の時間設定について申し上げますと、一定のご理解をいただきながら譲り合いを基本とし、午前11時から午後3時半の間で利用していただいております。このことについての苦情等はございませんし、宿泊客については、午後4時から入れるように確保されている状況です。

ただ、それ以外の時間、例えば、宿泊した翌日に入浴施設を利用する場合の苦情はないか等、ホテルに聞いておきたいと思ひます。

【佐藤会長】

ありがとうございました。

【宮澤副会長】

除雪体制についてお聞きします。毎年の雪が降りますと、業者や住民からの苦情があると思うのですが、今年、そういう苦情はありませんか。

【嶋田G長】

選挙の時も含めて、現在、苦情はゼロではありません。例年の話ですが、除雪については排雪ではなく雪をかき分けるという形ですから、家の前に雪がたくさん置かれていったという話はございます。これにつきましては、ご協力をお願いしているという中でご理解をいただいております。今の段階では、それ以上の苦情はいただいております。ただ、今回の暴風雪の関係で、着雪した電線が垂れ下がって切れてしまい、停電したという報告が多かったです。今後も気象状況を含め、除雪について注意していきたいと考えています。

【宮澤副会長】

人身事故等の報告も入っていないですか。

【嶋田G長】

人身事故は今の段階ではありません。

【佐藤会長】

ありがとうございました。

【長井（泰）委員】

皆様のお手元に、「在来線と地域の在り方を考える会」の会報を配付させていただきました。この会では、市と議会に対して、通学定期運賃の補助制度の創設について要望書を出しております。柿崎区としましては、久比岐高等学校もありますし、皆様も新聞等でご覧になっているとは思いますが、大幅に定期運賃が上がり、保護者の負担も大変なものになります。当協議会においても市に対して、通学定期運賃の補助制度について要望書を提案したいと考えておりますので、皆さんにお謀りしたいと思えます。

【佐藤会長】

今、長井（泰）委員から説明がありましたが、この案についていかがでしょうか。

【田鹿主事】

今、要望書ということでお話しいただいたのですが、自主的審議事項として審議をしたいということよろしいですか。そうであれば、自主的審議事項の提案書というものがありますので、そちらで提案していただき、当協議会での取り扱いを決定していただきたいと思えます。

【佐藤会長】

長井(泰)委員、よろしいでしょうか。1月の地域協議会で提案書を出していただきたいのですが。

【長井（泰）委員】

わかりました。

【金子委員】

まちづくり振興会との意見交換会の先ほど概要の説明がありましたが、今の方向性として、地域協議会の部会の委員は全員参加だと思うのですが、まちづくり振興会の方は、何人くらい出席されるのでしょうか。

【小菅所長】

現在、まちづくり振興会の事務局とで打ち合わせしており、まちづくりの事務局がまだ、部会と相談されていません。ただ 会長同士や、事務局同士でやっても話は進みませんので、今後は各部会の代表と開催方法やテーマ設定について協議をしてもらい、1月または2月に実施していきたいと考えております。詳細も含めて、一緒になって相談していくこととなります。

【金子委員】

同じ日に、一つの会場でやるのではなく、日にちも分かれることもあるのですか。

【小菅所長】

これからの相談の中で決めさせていただきたいと思います。どの部会にも会長、副会長が出席ということになれば、日を別に設けるということとなります。

【佐藤会長】

他にありませんか。無ければ今後のスケジュールの確認をさせていただきたいと思いますが、その前に私から提案があります。毎年冬期につきましては足元も悪く、交通の問題もありますので、1月から3月までの間は、昼間の開催とさせていただきたいと考えております。昨年も、そのようにさせていただいたかと思えます。また、事務局に確認させていただいたところ、1月から3月については審議する内容も多くなるということがございます。夜になると時間もだんだん遅くなってしまいますので、できましたら、昼間の時間帯にやっていただければ、それなりの時間も確保できるのではないかと思います。なお、時間帯でございますが、午後1時30分から、開催させていただきたいと考えています。皆様から何かご意見はありませんか。

それでは、ご意見が無いようでございますので、午後1時30分から開催いたします。次回の地域協議会の日程について、皆様から要望はありませんか。無いようですので、1月28日、水曜日の午後1時30分より開催をさせていただきたいと思えます。

それでは、以上をもちまして第10回地域協議会を閉会させていただきます。皆様に協力していただき、短時間で終了することができ感謝いたします。ありがとうございました。

(午後2時42分 閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-536-6710 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。